

小学部

(1) 小学部の教育目標

- ①健康で明るく、たくましい子
- ②進んで学び、よく考える子
- ③心豊かで思いやりのある子
- ④最後までがんばる子
- ⑤自分のことは自分でできる子

(2) 教育課程の編成方針

新学習指導要領及び本校教育課程編成の基本方針を踏まえ、生徒の障害の状態及び発達段階特性等に十分把握し卒業後の「自立と社会参加」を常に意識した教育活動を展開するための教育課程を編成する。

- ①小学校学習指導要領に準じた教育課程（Ⅰ課程－A）を基本とした編成を行う。障害の状態により特に必要がある場合には、「特別支援学校学習指導要領」に基づき下学年適用の教育課程（Ⅰ課程－B）の編成を行う。
- ②知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校の教育課程を取り入れる児童に関しては、個々の障害の状態及び発達段階に応じた触察等の初期学習を基に、的確な概念形成を目指し、教科別の指導や各教科等を合わせた指導も取り入れた編成（Ⅱ課程－A・B・C）を行う。重複障害者のうち、障害の状態により特に必要がある児童の場合には、自立活動の内容を主として、各教科等を合わせた指導を取り入れた編成（Ⅲ課程）を行う。
- ③学年相互の関連及び幼・小・高等部との一貫性のある編成を行うとともに、基礎学力の定着と確かな学力の育成、学びの連続性の確保に努める。
- ④知的障害者を教育する特別支援学校の教育課程及び自立活動を主とする教育課程による編成を行う場合は、生徒個々の障害の状態及び発達段階に応じて可能な限り「教科別の指導」を取り入れた編成を行う。
- ⑤R-PDCAサイクルに基づく目標設定と指導内容、方法の充実及び客観的な評価の実施など、個に応じた指導の充実に努めるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図る。
- ⑥道徳教育については、学習指導要領の趣旨を踏まえ、教科としての指導を充実させ、学校教育活動全体を通し道徳的心情を含む態度の育成を図る。
- ⑦望ましい社会性や人間性を育てるため、「集団活動」や校内外における「体験学習」「交流及び共同学習等」を計画的に実施し、その充実が図れるよう編成を行う。
- ⑧自立活動については、個別の指導計画に基づき、他の領域・教科との関連を密にしながら、指導すべき課題を明確にし、指導の工夫・改善に努める。また、児童個々の実態や変容に応じて必要な課題を的確に選定し、具体的な指導内容の設定を工夫し、相互に関連づけ、系統的・継続的に指導する。
- ⑨「総合的な学習の時間」は、その趣旨を踏まえてⅠ課程3～6学年に計画的に位置づけた編成を行い、Ⅱ・Ⅲ課程を除く。
- ⑩指導計画の作成と各学年における内容の取り扱いについては、「特別支援学校学習指導要領第2章－第1節－第1款」に記載された事項に十分配慮する。
- ⑪学校教育活動全体を通し、運動の場を設けるとともに食事や栄養に関する知識や関心を育てることで、健康の保持増進・体力の向上を図る。
- ⑫点字教科書や拡大教科書、ドリル等を活用し、児童個々の既習事項に対する評価を計画的に位置づけ、学習指導や進路指導の工夫・改善を図る。
- ⑬「個別の教育支援計画」を作成および活用し、家庭、各学部、寄宿舎、医療、福祉機関及び地域社会等の人的・物的資源を活用して指導の充実を図る。

(3) 各教科等の指導の重点（基本方針等）

視覚障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校として、以下の点に留意しながら教育を行う。

- ①児童が聴覚、触覚及び保有する視覚などを十分に活用して、具体的な事物・事象や動作と言葉とを結び付けて、的確な概念の形成を図り、言葉を正しく理解し活用できるようにする。
- ②児童の視覚障害の状態等に応じて、点字又は普通の文字の読み書きを系統的に指導し、習熟させる。児童の発達段階等に応じて、漢字・漢語の理解を促す指導を適切に行う。
- ③児童の視覚障害の状態等に応じて、指導内容を適切に精選し、基礎的・基本的な事項から着実に習得できるよう指導する。
- ④視覚補助具やコンピューター等の情報機器、触覚教材、拡大教材及び音声教材等各種教材の効果的な活用を通して、児童が容易に情報を収集・整理し、主体的な学習がで

きるようにするなど、児童の視覚障害の状態等を考慮した指導方法を工夫する。また必要に応じて遠隔授業等による学習保障ができるようにする。

- ⑤ 児童が場の状況や活動の過程等を的確に把握できるよう配慮することで、空間や時間の概念を養い、見通しをもって意欲的な学習活動を展開できるようにする。
- ⑥ プログラミング教育については、児童の情報活用能力の育成を図るため、各教科等の特質に応じて、論理的思考力を育むとともに、身近な問題の解決に主体的に取り組む態度やICT機器等を活用しようとする態度などを育む。

【I 課程－A・B】

① 各教科

ア 国語

- 児童の視覚障害の程度に応じて、日常生活に必要な点字や普通文字（平仮名、片仮名、漢字）の読み書きを系統的に指導し、習熟を図る。
- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する伝え合う力、思考力、想像力を養う。
- 言葉のもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、言語能力の向上を図る態度を養う。

イ 社会

- 観察や見学、聞き取りなどの調査活動や具体的体験を伴う学習を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 読み取る資料や情報を精選し、読み取る視点を明確にすることで、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- 多角的な見方・考え方を働かせ、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。

ウ 算数

- 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育てる。
- 具体物を用いた活動を通して数量や図形等の感覚を豊かにし、事象を考察する過程等で数学的に表現する力を育てる。
- 数概念の形成や計算の手段として珠算や暗算を進んで生活や学習に活用しようとする態度を養う。

エ 理科

- 自然の事物・現象についての理解を図り、見通しをもって観察、実験、栽培の直接体験を行うことなどを通して、基本的な技能を育てる。
- 自然の事物・現象についての問題を科学的に解決する活動を通して、問題解決の力を養う。
- 自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

オ 生活

- 具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関する見方・考え方を働かせ、自立し生活を豊かにしていくために必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
- 身近な生活に関わる事象を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現する能力を養う。
- 身近な生活に関わる事象に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学び生活を豊かにしようとする態度を養う。

カ 音楽

- 表現及び鑑賞の活動を通して、曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解し、必要な技能を身に付けるようにする。
- 音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽表現を工夫することや音楽を味わって聴くことができるようにする。
- 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と感性を育み、生活や社会の中で音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を養う。

キ 図画工作

- 物事を自分の経験を通して理解し、いろいろな材料や用具を使い、表し方を工夫し創造的につくったり表現したりすることができるようにする。
- 感覚機能を活用し、表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら造形的な見方・考え方を働かせ、作り出す喜びを味わったり自分の感じ方を深めたりする
- 作り出す喜びを味わうとともに、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を養う。

ク 家庭

- 家族や家庭、衣食住、消費や環境など日常生活に必要な基礎的な理解を図り、その技能を身に付けるようにする。

- 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、課題を解決する力を養う。
- 家庭生活を大切に作る心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

ケ 体育

- 各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付ける。
- 運動や健康についての自己の課題を見つけ、解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を育てる。
- 運動に親しむとともに生涯にわたった健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

コ 外国語（5・6年）

- 外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、日本語と外国語の違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、実際のコミュニケーションにおいて活用できる英語の点字表記を含む基本的な技能を身に付けるようにする。
- 身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を読んだり書いたりして自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

②道徳科

- 児童の障害に基づく種々の困難を改善・克服し、物事を多面的・多角的に捉え、人間理解や他者理解から自分の生き方についての考えを深める。
- 社会生活に必要な基本的な行動が、時と場に即して適切に行えるような道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などを養う。
- いろいろな道徳的物事を自分の事として捉え、自分の体験を基に自分自身を振り返り行動する態度を養う。

③外国語活動（3・4年）

- 外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、日本と外国との言語や文化の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

④総合的な学習の時間（3～6年）

- 児童の実態に基づく探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、より良く課題を解決し、自己の生き方を考えていく学習の良さを理解できるようにする。
- 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 体験活動（自然体験や社会体験等）に主体的・協働的に取り組むことを通して、実際に社会と関わり、行動していく態度を養う。

⑤特別活動

- 人間関係をよりよく形成するために必要な多様な他者との合意形成や協働の力を育てる。（人間関係の形成）
- 基本的な生活習慣や学校のきまり、働くことや学ぶことの意義を理解し、集団や社会の形成者として行動することができるようにする。（社会参画）
- 自己の生き方についての考えを深め将来を見通した自己の生き方の選択や形成について考えを深める。（自己実現）

⑥自立活動

- 個別の運動計画に基づき、自己他者・教科等との関連を密着させ、児童の主体的な形成を図るとともに、スムーズな運動・動作の基本的技能の修得と体力の向上を図る。
- 触察を通して感覚を総合的に活用しながら細部まで確実に捉えようとする態度や技能を育てる。
- 教科学習の基礎となる点字や文字（墨字）への興味関心を高め、系統的な指導を行い読み書きの能力を高める。（国語点字記録会を実施・評価し、意欲の向上を図る）○盲人用そろばん、拡大読書機、盲人用文房具などの自分に合った道具の使い方を理解し、進んで学習や日常生活に活かそうとする技能や態度を育てる。（算数珠算記録会を実施・評価し、意欲の向上を図る。）
- ICT機器への関心を高め、適切な情報の取得や活用についての基本的な能力を育

てる。

- ウォークラリーや校外学習を通して学校内外や近隣商業施設、自宅周辺の環境の理解や交通機関の利用方法等を知り、体験を広げ安全に移動できる能力を育てる。
- 周囲の人に積極的に関わろうとする態度を養い、困ったときに適切な方法で援助依頼ができるコミュニケーション能力を育てる。
- 弱視レンズ等の視覚補助具を利用し、保有する視覚を効果的に活用してより良く見ようとする技能や態度を育てる。
 - 自分の見え方や目の状態について理解し、自分の生活を管理・改善し、必要な環境設定（明るさ等）について知り、進んで環境を調整しようとする態度を養う。

【Ⅱ課程－A・B】

①各教科

ア 生活

- 具体的な活動（係活動）や直接体験を通して、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
- 身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付き、感じたことを表現しようとする。
- 身近な人々に自ら働きかけようとしたり、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしていくための態度を養う。

イ 国語

- 日常生活に必要な国語の知識や点字の技能を身に付けるとともに、文を読んだり、書いたりして、言語文化に触れることができるようにする。
- 経験したことを話し、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、自分の思いをもつことができるようにする。
- 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を養う。

ウ 算数

- 数量や図形などについて、基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、自分の身体や日常の事象に注目して処理する技能を身に付けるようにする。
- 身の回りの具体物を用いて操作したり分類したりして考える力を養う。
- 「触る」活動を豊かにし、学習したことを結び付けて、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用する。

エ 音楽

- 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- 音楽的な表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味を持って聴くことができる。
- 音や音楽に楽しく関わり、教師や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じながら音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにする態度を養う。

オ 図画工作

- 形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができるようにする。
- 表したいことを思いついたり、作品などの面白さを感じ取ったりしながら自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、より楽しく豊かな生活をするができる態度を養う。

カ 体育

- 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。
- 基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康に向け、感じたことを他者に伝える力を養う。
- 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動しようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。

②道徳科

- 児童の障害に基づく種々の困難を改善・克服して、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養い、道徳性を培う。
- いろいろな体験を通して自分の考えを深め、道徳的心情を育てる。
- 日常生活における基本的な行動が、時と場に即して適切に行えるような道徳的判断力と道徳的实践力を養う。

③外国語活動

- 外国語の活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声やリズムに慣れ親しむようにする。

- 外国語の活動を通して、外国語に触れ、簡単な語句や基本的な表現で、伝えあう力の素地を養う。
- 外国語の活動を通して、身近な歌やダンス、ゲームに触れながら、簡単な語や身振りで、コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- ④特別活動
 - 様々な集団活動を数多く経験することによって、心身の調和的発達を図るとともに、集団の一員としての自覚を育てる。
 - 学校の教育活動全体（学級活動、児童会活動、学校・学部行事など）に進んで参加することにより自主的な態度を育て個性の伸長を図る。
 - 交流及び共同学習を行ったり、地域の人々などと活動を共にしたりすることで経験を広め、積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性を育む。
- ⑤自立活動
 - 個別の指導計画に基づき、他の教科等との関連を密にしながら児童の実態に応じた指導の工夫や改善を図る。
 - 視覚を活用したり、手で触れたりあらゆる感覚を総合的に活用しながら、より良くとらえようとする技能や態度を育てる。
 - 点字や文字（墨字）への興味関心を高め、系統的な指導を行い、実態に応じた読書の能力を育てる。（国語点字記録会を実施・評価し、意欲の向上を図る）
 - 初期学習教材を活用した系統的な学習によって、触察に必要な手指の使い方や予測と確かめによる認知能力を育てる。具体的な操作を通して事物・事象や動作と言葉を結びつけ、教科学習の基礎となる抽象的概念の形成を図る。（算数記録会を実施・評価し、意欲の向上を図る。）
 - 全身を使ったいろいろな運動や位置や方向に関する系統的な学習を通して自分の身体の名前や自分を中心とした身体座標軸の形成を図る。
 - 教室内外や学校周辺での歩行学習、また実態に応じ伝い歩きや手引き歩行、白杖の導入など個々に合った方法で、安全に移動しようとする技能や態度を育てる。
 - 歩行指導で学んだ力を活用し、ウォークラリーや校外学習で買い物や交通機関の利用など様々な体験を広げる。
 - 周囲の人や事物への興味関心を育て、コミュニケーションの基礎的能力や、主体的に他者と関わろうとする態度を養う。
- ⑥各教科等を合わせた指導
 - ア 生活単元学習
 - 実際の活動や体験を通して、いろいろな事に興味・関心をもち、集団の活動に協働して取り組むことができる。
 - 体験的・実地的な活動を通して、知識・技能を身に付けるとともに、社会参加していくための望ましい習慣、意欲的な態度を育てる。
 - 具体的な活動や体験等を通じた学習活動に繰り返し取り組むことによって、見通しをもち、主体的に活動できる力を育てる。

【Ⅱ 課程－C】

①各教科

ア 生活

- 具体的な活動や直接体験を通して、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
- 自分のことや身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付き、感じたことを伝えようとする。
- 自分のことをしたり身近な人々に自ら働きかけようとしていたりして、意欲や自信をもって学び、生活に生かそうとする態度を養う。

イ 国語

- 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や言語文化に触れることができるようにする。
- 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、自分の思いをもつことができるようにする。
- 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。

ウ 算数

- 数量や図形などについて、基礎的・基本的な概念に気付き、自分の身体や日常の事象に注目して処理する技能を身に付けるようにする。
- 身の回りの具体物を用いて操作したり分類したりして考える力を養う。
- 教師と一緒に、数や形に気付いて、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら、学習や生活に活用しようとする態度を養う。

エ 音楽

- 音や音楽に注意を向けて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- 音楽的な表現を楽しむことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする
- 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じながら音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにする態度を養う。

オ 図画工作

- 形や素材などに気付き、材料や用具を使おうとするようにする。
- 教師と一緒に、表したいことを選んだり作品や素材を触ったりすることができるようにする。
- 教師と一緒に表したり触ったりする活動に取り組み、つくりだす楽しさを味わうことにより、生活を豊かにしようとする態度を養う。

カ 体育

- 教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。
- 体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。
- 簡単な合図や指示に従って、楽しく運動しようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。

②道徳科

- 日常生活において、場面に即した行動を身に付ける。
- 友達と親しみ、関りを深め、仲良くしようとする態度を養う。
- 簡単な約束やきまりを守り、みんなで使う物は大切に使う態度を育む。

③特別活動

- 様々な集団活動を数多く経験することによって、心身の調和的発達を図るとともに、集団の一員としての自覚を育てる。
- 学校の教育活動全般（学級活動、児童会活動、学校・学部行事など）に参加することにより、周りの様子や自分の役割を知る。
- 交流及び共同学習を行ったり、地域の人々などと活動を共にしたりすることで経験を広め、集団活動に楽しく参加しようとする態度を育む。

④自立活動

- 個別の指導計画に基づき、他の教科等との関連を密にしながら児童の実態に応じた指導の工夫や改善を図る。
- 食事、排泄などの生活リズムを整え、基本的な生活習慣の形成と健康状態の維持・改善を図る。
- 身体各部の筋緊張のゆるめや手による伝い歩き、手引き歩行、ウォーカーでの移動など運動・動作の基本的技能の基礎を培うとともに体を動かす楽しさを味わう。
- 図形の型はめや円柱さしなど行為と結果の関係がわかりやすい様々な教具の系統的な指導を通し基本的な手の動きを育てるとともに概念形成の基礎となる比較・弁別し環境を把握する力や事物や言葉の概念やコミュニケーション能力を育む。
- 学習記録会を実施し、手の動きや言葉の概念などを評価するとともにやり取りによるコミュニケーション力を育てる。
- いろいろな遊びや体験を通して、言葉の理解を広げるとともに多様な感情や興味関心を引き出し、集団参加、コミュニケーション力の基礎を培う。
- 多様な歌やリズム、音色に親しみ、音のある環境を楽しみ心地よさを味わうことで情緒の安定を図るとともに、豊かな感性や表現する力を育てる。

⑤各教科等を合わせた指導

ア 日常生活の指導

- 日常生活が充実し、高まるように必要な基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗い、排泄、食事など）を習慣的に繰り返して行い、定着を図る。
- 集団で必要なきまり（あいさつ、きまりを守ることなど）を毎日反復して行い、日常生活や社会生活において、望ましい生活習慣の形成を図る。
- 言葉や数などの興味や関心を高め、相手の話を注視して聞いたり言葉で伝えたりする力を育む。
- 生活単元学習
 - 実際の活動や体験を通して、いろいろな事に興味・関心をもち、集団の活動に取り組むことができる。
 - 体験的・実地的な活動を通して、知識・技能を身に付けるとともに、社会参加していくための望ましい習慣、意欲的な態度を育てる。
 - 具体的な活動や体験等を通じた学習活動に繰り返し取り組み、見通しをもって活動できる力を育てる。

【Ⅲ 課程】

① 各教科

ア 生活

- 教師と一緒に具体的な活動や直接体験を行い、生活に必要な習慣や技能などに気付けるようにする。
- 教師と一緒に身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気づき、感じたことを表現しようとする。
- 教師と一緒に身近な人々に自ら働きかけようとしたり、自ら生活を豊かにしていくための態度を養う。

イ 国語

- 教師や身近な人の言葉掛けに慣れたり、遊びを通して、言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉のもつ楽しさに気付く。
- 身近な人との関わりや経験したことについて、伝えたいことを思い浮かべたり、教師と一緒に選んだりする。
- 絵本などの読み聞かせを聞くなどして本に親しむ。

ウ 算数

- 具体物に気付いて探したり、つかもうとしたりする。
- ものの有無に気付く。
- 10までの範囲で教師と一緒に手拍子をするなど数に親しむ。
- ものともとの関係に注意を向け、ものの属性に気づき、関心をもって教師と一緒に操作をする。

エ 音楽

- 教師と一緒に音や音楽に注意を向けて気づくとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を知るようにする。
- 音楽的な表現を楽しむことや、聴こえてくる音や音楽に気づきながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。
- 音や音楽に気づいて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を育てる。

オ 図画工作

- 教師と一緒に形や色などに気づき、材料や用具を使おうとする。
- 教師と一緒に表したいことを考え、作品を見たりできるようにする。
- 教師と一緒に作り出すことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わるにより楽しい生活にしていく態度を養う。

カ 体育

- 教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、運動体験を通して興味関心を広げ、体を動かすことの楽しさを味わえるようにする。
- 教師と一緒に体を動かすことの楽しさや心地よさを表現したり、健康な生活を営むために必要な事柄をしたりすることができるようにする。
- 教師と一緒に楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。

② 道徳科

- 身近な人と親しみ、関りを深め、愛情や信頼感を育む。
- いろいろな遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちや態度を育む。
- 日常生活において、場面に即した行動を適切に判断する力を養う。

③ 特別活動

- 様々な集団活動を数多く経験することによって、心身の調和的発達を図るとともに集団の一員としての自覚を育てる。
- 学校の教育活動全般（学級活動、児童会活動、学校・学部行事など）に参加することにより、周りの様子や自分の役割を知る。
- 交流及び共同学習を行ったり、地域の人々などと活動を共にしたりすることで経験を広め、集団活動に楽しく参加しようとする態度の育成を図る。

④ 自立活動

- 個別の指導計画に基づき、他の教科等との関連を密にしながら児童の実態に応じた指導の工夫や改善を図る。
- 食事、排泄などの生活リズムを整え、基本的な生活習慣の形成と健康状態の維持・改善を図る。
- 教師と一緒にいろいろな活動を体験することで言葉の理解を広げるとともに周囲への興味関心を育て「好き、嫌い」など多様な感情やコミュニケーション能力の基礎を培う。
- 身体各部の筋緊張のゆるめや座位保持、膝立ち位など運動・動作の基本的技能の基礎を培うとともに体を動かす楽しさを味わう。
- 教師と一緒に音のなるおもちゃなど応答性が高く興味の引きやすい様々な教具に触

れ、握ったり、滑らせたりする基本的な手の動きを引き出し、環境を把握する力の基礎を育てる。

- 学習記録会を実施し、物や人への気づきや手の動きなどを評価するとともにやり取りによるコミュニケーション力を育てる。
 - 多様な歌やリズム、音色に親しみ、音のある環境を楽しみ心地よさを味わうことでリラクゼーションを促し情緒の安定を図る。
- ⑤各教科等を合わせた指導
- ア 日常生活の指導
 - 日常生活が充実し、高まるように必要な基本的生活習慣（衣服の着脱、手洗い、排泄、食事など）を習慣的に繰り返して行い、定着を図る。
 - 集団で必要なきまり（あいさつ、きまりを守ることなど）を毎日反復して行い、日常生活や社会生活において、望ましい生活習慣の形成を図る。
 - イ 遊びの指導
 - いろいろな遊びを通して物を触る気持ちを育てるとともに、いろいろな音楽体験や教師と一緒に運動体験および作る体験等を通して興味関心を広げ、遊びの楽しさを味わえるようにする。
 - 教師と一緒に情緒の安定を図ったり、豊かな感情を育てたり、仲間との関りを促すことで、対人関係の基礎を育てたりする。
 - 教師と一緒に友だちと遊びの体験や感動を共にすることを通して、一緒に楽しく活動しようとする、主体的な態度を育てる。
 - ウ 生活単元学習
 - 実際の活動や体験を通して、いろいろな事に興味・関心をもち、教師と一緒に集団の活動に協働して取り組むことができる。
 - 教師と一緒に体験的・実地的な活動を通して、知識・技能を身に付けるとともに、社会参加していくための望ましい習慣、意欲的な態度を育てる。
 - 教師と一緒に具体的な活動や体験等を通じた学習活動に繰り返し取り組むことによって、見通しをもち、主体的に活動できる力を育てる。

(4) 交流及び共同学習の重点

- ①地域や近隣の学校との交流及び共同学習を計画的、組織的に行い、児童の経験を広げ、社会性を養い、好ましい人間関係を育てる。
- ②児童と保護者の希望により、児童の居住地にある小学校等との交流及び共同学習を行い、地域の一員としての自覚や仲間意識、社会性を培う。

(5) 生徒指導の重点

- ①基本的な生活習慣の形成（身の回りの整理整頓や身なりを整える等）を図る。
- ②時と場に応じて行動する態度を育てる。
- ③積極的に問題を解決しようとする実践的態度を育てる。
- ④人権について学ぶ機会を設け、互いに協力し助け合う態度等を育てる。

(6) キャリア教育の重点

- ①特別活動を要としつつ学校教育全体を通して、主体的な意思決定を大切にするなど自己の生き方を見直したり、いろいろな職業について興味関心を持たせ、働くことの大切さ等勤労観や職業観を育てたりする。
- ②高学年で職場体験及びキャリア教育を計画的に位置づける等、幼小中高一貫した進路指導の充実を図る。
- ③社会的・職業的自立に向けて、基本的な生活習慣の形成やコミュニケーション能力、社会性の育成を図る。
- ④保護者や地域と連携し、個に応じた一貫性のある指導を行う。
- ⑤キャリアパスポートを活用し、学習の振り返りやキャリアへの意識を高め、自己のキャリア形成を見通し、自己評価していく。

(7) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

- ①日常から生活課題を探ることができるよう、生活に密着した授業実践を行う。
- ②生活課題など主体性をもって物事に取り組み、やり遂げる力を育てる。
- ③多様な人々との交流学习などで実践的な活動や発表等も組み込み、主体的・協働的な学習を行う。
- ④地域の社会施設やスポーツ・文化芸術活動等に親しむことができるよう、関係団体や学校・家庭・地域社会と連携及び協働を図る。

(8) ICT機器利活用の重点

- ①児童一人一人の教育的ニーズに合わせて、積極的なICT機器の活用に取り組む。

②情報モラルを身に付け、点字ディスプレイ等を含めたICT機器の情報手段を適切かつ実践的、主体的に活用できるように、あらゆる機会を通して学習活動の充実に努める。

③情報通信ネットワークを活用し、学校間及び学校と家庭や地域社会との連携等を図ると共に、交流、協働学習、オンライン授業等の教育活動の展開に努める。

(9) 安全教育の重点

①健康で安全な生活を送ろうとする能力や態度、習慣を育てる。

②非常時の災害に対処しうる能力や態度を育てる。

③適切な支援を求められるよう、援助依頼する能力や態度を育てる。

④施設設備の安全な活用の指導を行うとともに安全な環境をつくる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	15	17	21	15	0	20	20	20	17	17	19	17	198
2年	16	17	21	15	0	20	20	20	17	17	19	17	199
3年	16	17	21	15	0	20	20	20	17	17	19	17	199
4年	16	17	21	15	0	20	20	20	17	17	19	17	199
5年	16	17	21	15	0	20	20	20	17	17	19	17	199
6年	16	17	21	15	0	20	20	20	17	17	19	16	198

学期	月日	曜日	行事名		時間配当						
			種類	事項	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
一学期	4月7日	木	儀式的	1学期始業式		1	1	1	1	1	1
	4月7日	木	儀式的	入学式	1	1	1	1	1	1	
	4月22日	金	健康安全・体育的	身体測定	1	1	1	1	1	1	
	4月28日	木	儀式的	創立記念日集会	1	1	1	1	1	1	
	5月24日	木	健康安全・体育的	心電図検査	1	1	1	1	1	1	
	5月25日	火	儀式的	火災避難訓練	1	1	1	1	1	1	
	5月27日	金	遠足・集团的	遠足	6	6	6	6	6	6	
	7月20日	月	儀式的	1学期終業式	1	1	1	1	1	1	
	小計				12	13	13	13	13	13	
学期	月日	曜日	行事名		時間配当						
			種類	事項	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
二学期	9月1日	木	儀式的	2学期始業式	1	1	1	1	1	1	
	9月21日	水	旅行・集团的	修学旅行					12	12	
	10月30日	日	文化的	文化祭	6	6	6	6	6	6	
	11月1日	火	儀式的	点字記念日集会	1	1	1	1	1	1	
	11月22日	火	健康安全・体育的	総合防災避難訓練	2	2	2	2	2	2	
	12月24日	金	儀式的	2学期終業式	1	1	1	1	1	1	
		小計				11	11	11	11	23	23
学期	月日	曜日	行事名		時間配当						
			種類	事項	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
三学期	1月6日	木	儀式的	3学期始業式・修了式	1	1	1	1	1	1	
	3月1日	火	儀式的	高等部卒業式	2	2	2	2	2	2	
	3月23日	水	儀式的	小中卒業式	2	2	2	2	2	2	
	3月24日	木	儀式的	修了式・離任式	1	1	1	1	1		
		小計				6	6	6	6	6	5
合計					29	30	30	30	42	41	

様式2 小学部

③ 授業時数配当表 I 課程A (小学校の教育課程に自立活動を加えて編成)
訪問教育 I 課程 (小学校の教育課程に自立活動を加えて弾力的に編成)

教科等	1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
各教科	国語	255	245	193	210	175	175
	社会			70	88	105	105
	算数	170	228	210	210	175	175
	理科			87	105	105	105
	生活	85	87				
	音楽	68	70	70	52	42	42
	図画工作	34	35	35	35	35	35
	家庭					42	42
	体育	68	70	70	70	70	70 保健を含む
	外国語					70	70
	小計	680	735	735	770	819	819
道徳科	34	35	35	35	35	35	
外国語活動			35	35			
総合的な学習の時間			35	35	42	42	
特別活動	34	35	35	35	35	35	
自立活動	102	105	105	105	84	84	
小計	170	175	245	245	196	196	
合計	850	910	980	1015	1015	1015	

様式2 小学部

③ 授業時数配当表 I 課程B (小学校の教育課程に自立活動を加えて編成)
訪問教育 I 課程 (小学校の教育課程に自立活動を加えて弾力的に編成)

教科等	1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
各教科	国語	221	245	193	210	175	175
	社会			70	105	105	105
	算数	170	192	175	175	140	140
	理科			87	88	105	105
	生活	85	88				
	音楽	68	70	70	52	42	42
	図画工作	34	35	35	35	35	35
	家庭					42	42
	体育	68	70	70	70	70	70 保健を含む
	外国語					70	70
	小計	646	700	700	735	784	784
道徳科	34	35	35	35	35	35	
外国語活動			35	35			
総合的な学習の時間			35	35	42	42	
特別活動	34	35	35	35	35	35	
自立活動	136	140	140	140	119	119	
小計	204	210	280	280	231	231	
合計	850	910	980	1015	1015	1015	

様式5 小学部〔Ⅱ課程A〕

Ⅱ課程（知的障害小学部の教育課程） 訪問教育Ⅱ課程（知的障害小学部の教育課程を弾力的に編成）

Ⅲ課程（知的障害小学部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成） 訪問教育Ⅲ課程（知的障害小学部の教育課程で自立活動

④ 授業時数配当表【各教科等を合わせた指導を含む】

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 遊：遊びの指導

※1:学校に応じて合わせた指導の名称を変更して作成してください。
 ※2:⑤の表を記入すると④の合わせた指導が自動的に記入される。

	1年			2年			3年			4年			5年			6年			備考	
	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導		
各教科	生活	340	306	34	315	280	35	315	280	35	350	315	35	315	315	0	315	315	0	
	国語	102	102	0	140	140	0	175	175	0	175	175	0	175	175	0	175	175	0	
	算数	68	68	0	105	105	0	140	140	0	140	140	0	140	140	0	140	140	0	
	音楽	68	68	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	
	図画工作	34	34	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	
	体育	68	68	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	保健を含む
道徳科	34	34	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0		
外国語活動							0	0	0	0	0	0	0	35	35	0	35	35	0	
特別活動	34	0	34	35	0	35	35	0	35	0	35	0	35	35	0	35	35	0		
自立活動	102	102	0	105	105	0	105	105	0	105	105	0	105	105	0	105	105	0		
合計	教科別の指導で行う時数	782			840			910			945			1015			1015			
	合わせた指導で行う時数	68			70			70			70			0			0			
	総時数	850			910			980			1015			1015			1015			

【指導形態】

日常生活の指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
生活単元学習	68			70			70			70			70			0			0
遊びの指導	0			0			0			0			0			0			0
合計	68			70			70			70			70			0			0

様式5 小学部〔Ⅱ課程A〕

⑤【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
日常生活の指導	生活							
	国語							
	算数							
	音楽							
	図画工作							
	体育							
	道徳科							
	外国語活動							
	特別活動							
	自立活動							
	合計	0	0	0	0	0	0	
生活単元学習	生活	34	35	35	35	0	0	総合学習 校外学習 学校行事 (4年生以下) 児童集会
	国語	0	0	0	0	0	0	
	算数	0	0	0	0	0	0	
	音楽	0	0	0	0	0	0	
	図画工作	0	0	0	0	0	0	
	体育	0	0	0	0	0	0	
	道徳科	0	0	0	0	0	0	
	外国語活動			0	0	0	0	
	特別活動	34	35	35	35	0	0	
	自立活動	0	0	0	0	0	0	
	合計	68	70	70	70	0	0	
遊びの指導	生活							
	国語							
	算数							
	音楽							
	図画工作							
	体育							
	道徳科							
	外国語活動							
	特別活動							
	自立活動							
	合計	0	0	0	0	0	0	
合わせた指導合計	68	70	70	70	0	0		

様式5 小学部〔Ⅱ課程-B〕

Ⅱ課程（知的障害小学部の教育課程） 訪問教育Ⅱ課程（知的障害小学部の教育課程を弾力的に編成）

Ⅲ課程（知的障害小学部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成） 訪問教育Ⅲ課程（知的障害小学部の教育課程で自立活動

④ 授業時数配当表【各教科等を合わせた指導を含む】

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 遊：遊びの指導

※1:学校に応じて合わせた指導の名称を変更して作成してください。
 ※2:⑤の表を記入すると④の合わせた指導が自動的に記入される。

	1年			2年			3年			4年			5年			6年			備考	
	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導		
各教科	生活	306	272	34	350	315	35	335	315	20	265	245	20	260	245	15	260	245	15	
	国語	68	68	0	70	70	0	105	105	0	175	175	0	175	175	0	175	175	0	
	算数	34	34	0	35	35	0	70	70	0	105	105	0	105	105	0	105	105	0	
	音楽	68	68	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	
	図画工作	34	0	34	35	0	35	35	0	35	0	35	0	35	0	35	35	0	35	
	体育	68	68	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	保健を含む
道徳科	34	0	34	35	0	35	35	0	35	0	35	0	35	0	35	35	0	35		
外国語活動							15	0	15	15	0	15	0	15	0	20	0	20	20	
特別活動	34	0	34	35	0	35	35	0	35	0	35	0	35	35	0	35	35	0	35	
自立活動	204	204	0	210	210	0	210	210	0	210	210	0	210	210	0	210	210	0	210	
合計	教科別の指導で行う時数	714			770			840			875			910			910			
	合わせた指導で行う時数	136			140			140			140			105			105			
	総時数	850			910			980			1015			1015			1015			

【指導形態】

日常生活の指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
生活単元学習	70			140			140			140			105			105			
遊びの指導	0			0			0			0			0			0			
合計	70			140			140			140			105			105			

様式5 小学部〔Ⅱ課程B〕

⑤【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
日常生活の指導	生活							
	国語							
	算数							
	音楽							
	図画工作							
	体育							
	道徳科							
	外国語活動							
	特別活動							
	自立活動							
	合計	0	0	0	0	0	0	
生活単元学習	生活	34	35	20	20	15	15	総合学習 校外学習 学校行事 (4年生以下) 児童集会
	国語	0	0	0	0	0	0	
	算数	0	0	0	0	0	0	
	音楽	0	0	0	0	0	0	
	図画工作	34	35	35	35	35	35	
	体育	0	0	0	0	0	0	
	道徳科	34	35	35	35	35	35	
	外国語活動			15	15	20	20	
	特別活動	34	35	35	35	0	0	
	自立活動	0		0	0	0	0	
	合計	136	140	140	140	105	105	
遊びの指導	生活							
	国語							
	算数							
	音楽							
	図画工作							
	体育							
	道徳科							
	外国語活動							
	特別活動							
	自立活動							
	合計	0	0	0	0	0	0	
合わせた指導合計	136	140	140	140	105	105		

様式5 小学部〔Ⅱ課程-C〕

Ⅱ課程（知的障害小学部の教育課程） 訪問教育Ⅱ課程（知的障害小学部の教育課程を弾力的に編成）

Ⅲ課程（知的障害小学部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成） 訪問教育Ⅲ課程（知的障害小学部の教育課程で自立活動

④ 授業時数配当表【各教科等を合わせた指導を含む】

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 遊：遊びの指導

※1:学校に応じて合わせた指導の名称を変更して作成してください。
 ※2:⑤の表を記入すると④の合わせた指導が自動的に記入される。

	1年			2年			3年			4年			5年			6年			備考	
	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導		
各教科	生活	308	170	138	315	175	140	315	280	35	315	280	35	315	280	35	315	280	35	
	国語	102	68	34	105	70	35	105	105	0	105	105	0	105	105	0	105	105	0	
	算数	32	0	32	70	35	35	70	70	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	
	音楽	68	68	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	
	図画工作	34	0	34	35	0	35	35	0	35	0	35	0	35	0	35	0	35	0	
	体育	68	68	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	70	70	0	保健を含む
道徳科	34	0	34	35	0	35	35	0	35	0	35	0	35	0	35	0	35	0		
外国語活動							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
特別活動	34	0	34	35	0	35	35	0	35	0	35	0	35	0	35	0	35	0		
自立活動	170	170	0	175	175	0	245	245	0	280	280	0	280	280	0	280	280	0		
合計	教科別の指導で行う時数	544			595			840			875			875			875			
	合わせた指導で行う時数	306			315			140			140			140			140			
	総時数	850			910			980			1015			1015			1015			

【指導形態】

日常生活の指導	170	175	0	0	0
生活単元学習	102	140	140	140	140
遊びの指導	0	0	0	0	0
合計	272	315	140	140	140

様式5 小学部〔Ⅱ課程C〕

⑤【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
日常生活の指導	生活	104	105	0	0	0	0	
	国語	34	35	0	0	0	0	
	算数	32	35	0	0	0	0	
	音楽	0	0	0	0	0	0	
	図画工作	0	0	0	0	0	0	
	体育	0	0	0	0	0	0	
	道徳科	0	0	0	0	0	0	
	外国語活動	0	0	0	0	0	0	
	特別活動	0	0	0	0	0	0	
	自立活動	0	0	0	0	0	0	
	合計	170	175	0	0	0	0	
生活単元学習	生活	34	35	35	35	35	35	総合学習 校外学習 学校行事 (4年生以下) 児童集会
	国語	0	0	0	0	0	0	
	算数	0	0	0	0	0	0	
	音楽	0	0	0	0	0	0	
	図画工作	34	35	35	35	35	35	
	体育	0	0	0	0	0	0	
	道徳科	34	35	35	35	35	35	
	外国語活動	0	0	0	0	0	0	
	特別活動	34	35	35	35	35	35	
	自立活動	0	0	0	0	0	0	
	合計	136	140	140	140	140	140	
遊びの指導	生活							
	国語							
	算数							
	音楽							
	図画工作							
	体育							
	道徳科							
	外国語活動							
	特別活動							
	自立活動							
	合計	0	0	0	0	0	0	
合わせた指導合計	306	315	140	140	140	140		

様式5 小学部〔Ⅲ課程〕

Ⅱ課程（知的障害小学部の教育課程） 訪問教育Ⅱ課程（知的障害小学部の教育課程を弾力的に編成）

Ⅲ課程（知的障害小学部の教育課程で自立活動に重点を置いて編成） 訪問教育Ⅲ課程（知的障害小学部の教育課程で自立活動

④ 授業時数配当表【各教科等を合わせた指導を含む】

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 遊：遊びの指導

※1:学校に応じて合わせた指導の名称を変更して作成してください。
 ※2:⑤の表を記入すると④の合わせた指導が自動的に記入され

	1年			2年			3年			4年			5年			6年			備考				
	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導	総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導					
各教科	生活	205	0	205	170 日 生 遊	0	210	175 日 生 遊	0	210	175 日 生 遊	0	210	158 日 生 遊	0	210	158 日 生 遊	0	210	158 日 生 遊			
	国語	68	0	68	68 日 生 遊	0	70	70 日 生 遊	0	70	70 日 生 遊	0	70	88 日 生 遊	0	88	88 日 生 遊	0	88	88 日 生 遊			
	算数	34	0	34	34 日 生 遊	0	35	35 日 生 遊	0	35	35 日 生 遊	0	35	52 日 生 遊	0	52	52 日 生 遊	0	52	52 日 生 遊			
	音楽	34	34	0	0 日 生 遊	35	35	0 日 生 遊	35	35	0 日 生 遊	35	35	0 日 生 遊	35	35	0 日 生 遊	35	35	0 日 生 遊			
	図画工作	34	0	34	0 日 生 遊	0	35	0 日 生 遊	35	35	0 日 生 遊	35	35	0 日 生 遊	35	18 日 生 遊	17	35	18 日 生 遊	17	35	18 日 生 遊	
	体育	34	34	0	0 日 生 遊	35	35	0 日 生 遊	35	35	0 日 生 遊	35	35	0 日 生 遊	35	35	0 日 生 遊	35	35	0 日 生 遊	35	35	0 日 生 遊
道徳科	34	0	34	0 日 生 遊	0	35	0 日 生 遊	35	35	0 日 生 遊	35	35	0 日 生 遊	35	17 日 生 遊	18	35	17 日 生 遊	18	35	17 日 生 遊		
外国語活動							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
特別活動	34	0	34	34 日 生 遊	0	35	35 日 生 遊	0	35	35 日 生 遊	0	35	35 日 生 遊	0	35	17 日 生 遊	18	35	17 日 生 遊	18	35	17 日 生 遊	
自立活動	374	374	0	0 日 生 遊	420	420	0 日 生 遊	490	490	0 日 生 遊	490	490	0 日 生 遊	525	525	0 日 生 遊	490	490	0 日 生 遊	490	490	0 日 生 遊	
合計	教科別の指導で行う時数	442			490			560			595			560			560						
	合わせた指導で行う時数	409			420			420			420			455			455						
	総時数	851			910			980			1015			1015			1015						

【指導形態】

日常生活の指導	306	315	315	315	315	315
生活単元学習	0	0	0	0	70	70
遊びの指導	103	105	105	105	70	70
合計	409	420	420	420	455	455

様式5 小学部〔Ⅲ課程〕

⑤【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
日常生活の指導	生活	170	175	175	175	158	158	
	国語	68	70	70	70	88	88	
	算数	34	35	35	35	52	52	
	音楽	0	0	0	0	0	0	
	図画工作	0	0	0	0	0	0	
	体育	0	0	0	0	0	0	
	道徳科	0	0	0	0	0	0	
	外国語活動			0	0	0	0	
	特別活動	34	35	35	35	17	17	
	自立活動	0	0	0	0	0	0	
	合計	306	315	315	315	315	315	
生活単元学習	生活	0	0	0	0	17	17	
	国語	0	0	0	0	0	0	
	算数	0	0	0	0	0	0	
	音楽	0	0	0	0	0	0	
	図画工作	0	0	0	0	18	18	
	体育	0	0	0	0	0	0	
	道徳科	0	0	0	0	17	17	
	外国語活動			0	0	0	0	
	特別活動	0	0	0	0	18	18	
	自立活動	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	70	70	
遊びの指導	生活	35	35	35	35	35	35	
	国語	0	0	0	0	0	0	
	算数	0	0	0	0	0	0	
	音楽	0	0	0	0	0	0	
	図画工作	34	35	35	35	17	17	
	体育	0	0	0	0	0	0	
	道徳科	34	35	35	35	18	18	
	外国語活動			0	0	0	0	
	特別活動	0	0	0	0	0	0	
	自立活動	0	0	0	0	0	0	
	合計	103	105	105	105	70	70	
合わせた指導合計	409	420	420	420	455	455		